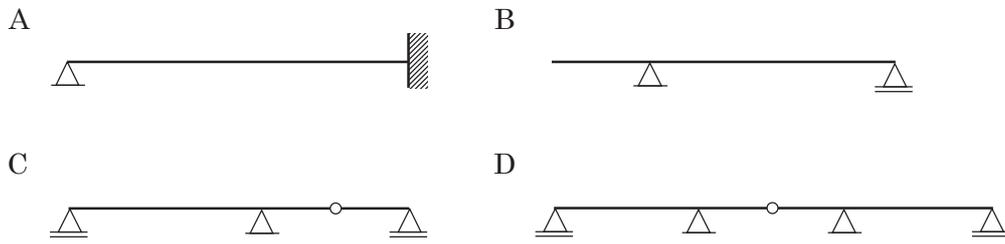


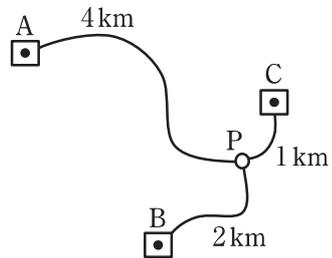
大学卒業程度（総合土木 専門試験） 3問

図 A～D の梁について、静定か不静定かの組合せとして妥当なのはどれか。



- | | A | B | C | D |
|----|-----|-----|-----|-----|
| 1. | 静定 | 静定 | 静定 | 不静定 |
| 2. | 静定 | 静定 | 不静定 | 不静定 |
| 3. | 不静定 | 静定 | 静定 | 不静定 |
| 4. | 不静定 | 静定 | 不静定 | 静定 |
| 5. | 不静定 | 不静定 | 静定 | 静定 |

図のように、三つの水準点 A～C から点 P の標高を求めるため直接水準測量を行い、表のような結果を得た。点 P の標高の最確値はいくらか。



水準点	点 P の測定値 [m]	点 P との距離 [km]
A	12.416	4
B	12.412	2
C	12.425	1

1. 12.418 m
2. 12.419 m
3. 12.420 m
4. 12.421 m
5. 12.422 m

耕盤に関する次の記述A～Dの正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- A. 耕盤の形成は透水性を高め、降下浸透を増大させる効果があるため、水田が有する地下水涵養機能を向上させる。
- B. 畑作農業では、耕盤のない圃場が好まれるが、水田農業では、心土と作土の間に耕盤を形成して苗を移植（田植え）する栽培方法が発達した。
- C. 湛水前の田面の耕耘などの作業では、農業機械の車輪は主として作土直下の耕盤によって支持されるが、湛水条件下で行われる代かきなどの作業では、車輪は主として作土層である表層によって支持される。
- D. 耕盤があることで、作土内での灌漑水や肥料の利用効率が高まり、水稻の安定した収量を期待することができる。

	A	B	C	D
1.	正	正	誤	正
2.	正	誤	正	誤
3.	誤	正	正	誤
4.	誤	正	誤	正
5.	誤	誤	誤	正